



すびっこ 美術館

百塚保育所
掛札 侑希くん



畑で野菜作り

お友達と一緒に野菜の苗を植えている様子を描いてくれたのは侑希くん(5歳)。育てた野菜は給食に入れてもらうそう、「グループで順番に、水やり当番があるんだよ!」とにこにこ話してくれました。大きくなるのが楽しみです。

ぼくの夢 わたしの夢



夢は…。 “新幹線や特急の設計”

舟石川小学校6年 ● 藤原圭吾

ぼくの将来の夢は、新幹線や特急の設計をすることです。なぜそのような夢を持ったかという、父親と色々な電車に乗って興味を持ったからです。特に、新幹線はスピードを出すために、風の影響が少なくなるよう形が工夫されています。ぼくもそんな形や色の優れた新幹線を設計したいと思っています。また、車内も乗り心地の良いすやデザインにしたいと考えています。

こうした夢を実現するために、ぼくは設計の技術が学べる学校へ進学したいと思っています。そのためには、今までよりもっと国語や算数、図工に力を入れて勉強しなければなりません。大人になって、自分が設計した新幹線が東京を走っている姿を想像しながら頑張っていきたいと思っています。

そしていつか、両親と弟にも自分が設計した新幹線に乗って喜んでもらいたいです。

わが家の子育てノート

浦野 泉

わが家は夫と私、考生(3才)の3人家族です。結婚9年目で生まれた考生はよく泣き、よく笑い、元気いっぱいに育つてくれています。

お腹の中にいるときは大きく育ち過ぎてしまい、出産のとき頭が産道を通らず、急ぎよ帝王切開で生まれました。出産に立ち会った看護師さんたち全員が「お父さんそっくり!」と口をそろえて言うほど、夫によく似ていたそうです。大きかったのは赤ちゃんのときだけで、今は小柄な方ですが、声が大きく、表情の豊かな男の子です。

私たち夫婦は両親が遠方にいるため、最初こそ両方の親に交替で来てもらったものの、普段は夫と協力しながら子育てをしています。子どもがいなかった期間が長く、自由気ままに過ごしていた私たちにあって、生活のリズムを大きく変えざるを得ない子育ては、まさに人生の大きな転換期となりました。時にはイライラしてしまうこともありましたが、子育ての大変さを楽しもうという、ポジティブな気持ちを持つよう心が掛けています。



り、少しでも早く家族以外の人たちに慣れてもらおうと、積極的に育児支援サービスを利用しました。生後5か月のころから、私が家で仕事をしている間は、村の育児サポートや保育園の一時預かりをお願いしたり、2人で過ごすときは、育児サークルや児童センターに通ったりしました。おかげで、同年代の友達や大人たちに人見知りもせずに、どこでも楽しく過ごせているようです。

4月からは幼稚園に入園し、毎日元気に通っています。幼稚園の初日からすぐに慣れて、毎朝「今日は幼稚園行く!」と張り切って行き、家に帰ってくると、覚えてきた体操や歌を披露してくれます。

最近はや言葉数も増え、自分の様子や気持ちを伝えることができるようになってきました。これからのいろいろな方々に一緒に育てていただきながら、考生の成長の一瞬一瞬を楽しんでいきたいと思っています。